TOSHIBA

東芝HDD&DVDビデオレコーダー

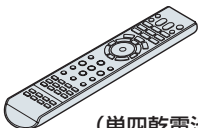
RD-T1

接続・設定早わかり

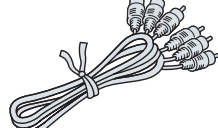
本紙では基本的な接続と設定について説明しています。

本体とテレビを接続しましょう

1 箱の中身を確認します

本体　1台

（単四乾電池2個）

ワイヤレスリモコン　1個

同軸ケーブル（75Ω）　1本

映像・音声接続コード　1本

電源コード　1本

モジュラー分配器　1個

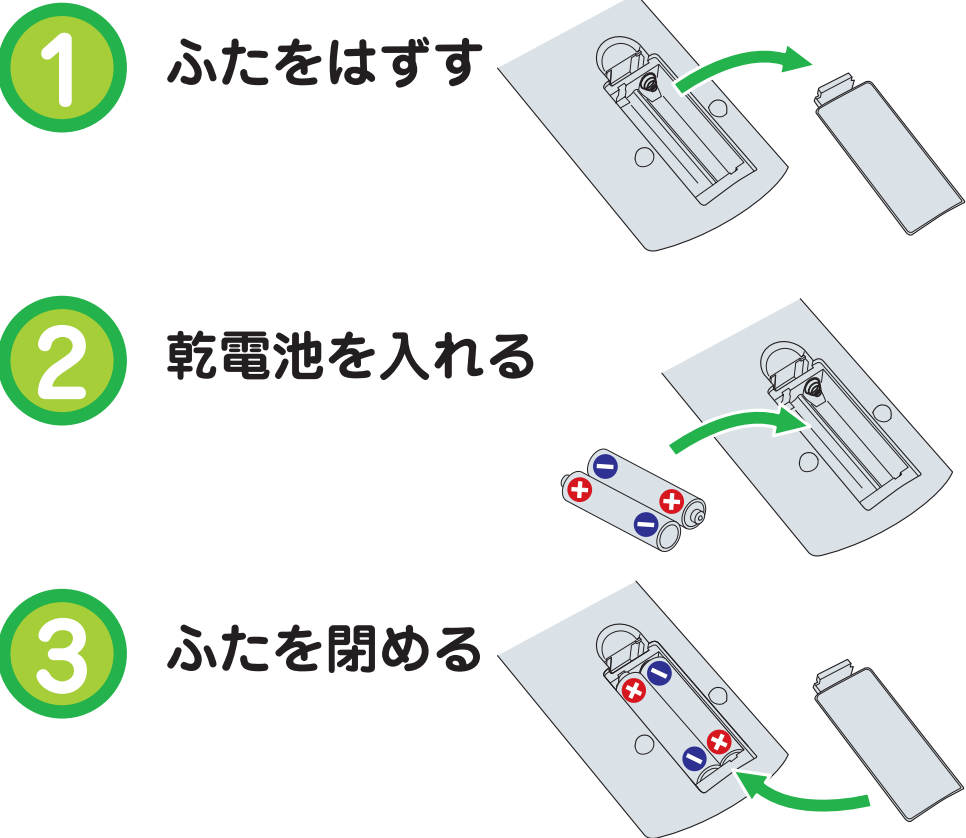
電話機コード　1本

- 本紙（接続・設定早わかり）①
- 基本操作早わかり②
- 取扱説明書 - 接続・設定編③
- 取扱説明書 - 操作編④
- 取扱説明書 - 応用編⑤
- B-CAS カード 1 枚（B-CAS カードは説明紙に付いています。）
- BS・110 度 CS デジタル放送受信契約申込書一式

3 リモコンに乾電池を入れます

① ふたをはずす

② 乾電池を入れる

③ ふたを閉める

4 本機のリモコンでテレビを操作するには

（初期設定は「東芝00」に設定されています。）

① 放送切換 を押したまま、テレビのメーカー番号を番号ボタンで入力する

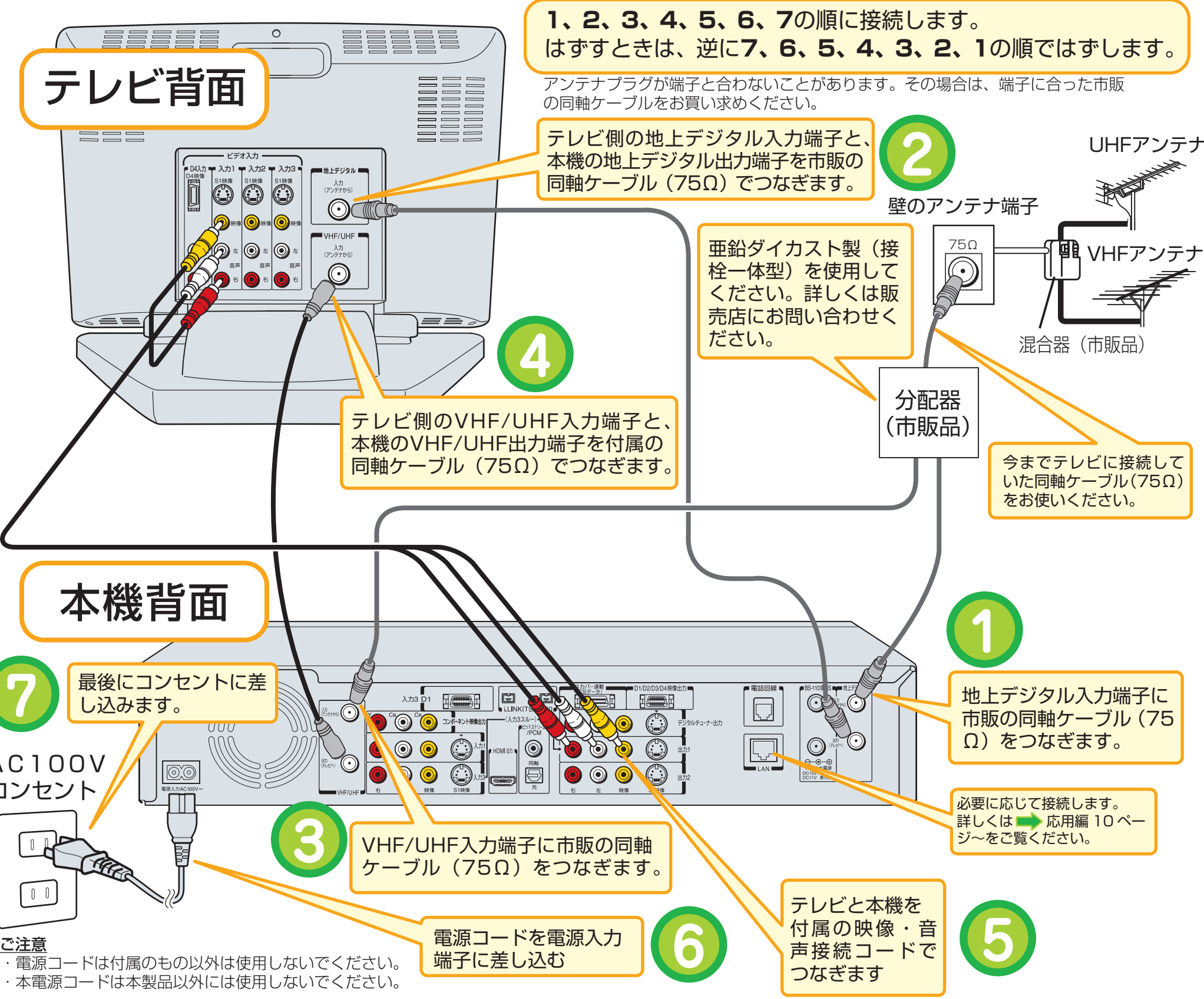
メーカー	メーカー番号
東芝	00
松下A	01
松下B	02
日立	03
三菱	04
シャープA	05
シャープB	06
日本ビクター	07

メーカー	メーカー番号
三洋A	08
三洋B	09
ソニー	10
NEC	11
富士通ゼネラル	12
パイオニア	13
エプソン	16

② 放送切換 から指を離す

メーカー番号が設定されます。

2 アンテナ・テレビと接続します

地上デジタル放送の受信には、UHFアンテナを使用します。VHFアンテナでは受信できません。
現在お使いのUHFアンテナが地上デジタル放送にも対応している場合はそのままお使いになれます。
（お取り替えや調整が必要な場合もありますので、接続の前にご使用のアンテナの種類などを必ずご確認ください。）

■よりよい映像でご覧になりたいときは

映像（黄色）のかわりに、S 映像接続コード（市販品）でテレビの S1 映像入力端子と接続します。

➡ 接続・設定編 14 ページをご覧ください。

D 端子付きテレビの場合は、D 端子ケーブル（市販品）で接続する方法もあります。

➡ 接続・設定編 20 ページをご覧ください。

■AVアンプと接続するときは

ドルビーデジタル、DTS音声やAACに対応したAVアンプと接続するには、光デジタルケーブル（市販品）またはHDMIケーブル（市販品）で接続します。

➡ 接続・設定編 20 ページをご覧ください。

■ CATV（ケーブルテレビ）

CATV用ホームターミナルがある場合、その取扱説明書をご覧ください。

➡ 接続・設定編 22 ページをご覧ください。

■ BS・110 度 CS デジタル放送

本機は、BS・110度CSデジタル放送を受信することができます。専用、または共用のアンテナと接続します。

➡ 接続・設定編 17 ページをご覧ください。

その他の本機に対応の外部機器などの接続については取扱説明書「接続・設定編」をご覧ください。

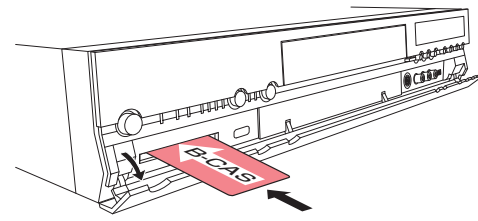
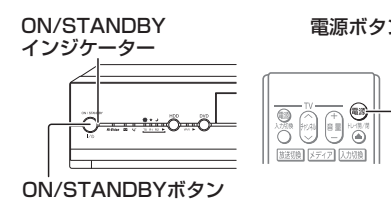
79101550
Ⓗ PM0024602011

本体の設定をしましょう

1 B-CAS（ビーキャス）カードを入れる

●付属の B-CAS カードは、放送受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。常に本機に挿入しておいてください。
●付属の B-CAS カードの説明紙についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約をするときに付属の加入申込書に必ず貼ってください。
● B-CAS カードは本体の電源を入れる前に挿入してください。

2 電源を入れる

本体の ON/STANDBY I/O または
リモコンの 電源 を押す

ON/STANDBY インジケーター
電源ボタン
ON/STANDBYボタン

電源がはいると、本体の ON/STANDBY インジケーターが、赤（待機状態）から緑（電源入り状態）に変わります。
画面に「読込み中」のマーク（アイコンと呼びます）が表われ、本機が使えるまでの準備状態であることを示します。

●電源を切るには…

本体の ON/STANDBY I/O またはリモコンの 電源 を押す

画面右上に「処理中」のアイコンが表示され、ON/STANDBY インジケーターが赤に変わり、そのあと電源が切れて待機状態になります。

※ ON/STANDBY インジケーターが、赤（待機状態）のときは、リモコンの操作ができるように通電している状態です。
また、番組表の取得や予約録画を行なうため、動作していることがあります。

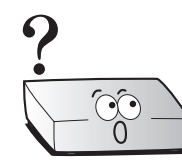
4 番組表の設定をする

番組表について

番組表のデータは、地上アナログ放送波やデジタル放送波、インターネットから取り込むことができますが、ここでは地上アナログ放送波（ADAMS）からデータを取り込むための設定を説明します。番組表を利用することで、録画予約が簡単にできるようになります。

※ ADAMS = TV-Asahi Data and Multimedia Service

• **テレビ朝日系列の地上アナログ放送の電波から送信される番組データを、アンテナを通して自動受信します。**

※テレビ朝日系列を受信できない地域では、ADAMS からのデータを利用できません。

ADAMSの特長は?

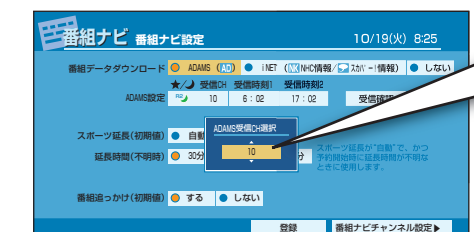
・インターネット環境がなくても、番組データが取り込めます。
・8日分の番組データを取り込みます。
（地域によっては 2 日分の場合や、提供されていない場合があります。）
・1日2回の選択した時刻に番組データを自動受信します。
・テレビの放送波（地上アナログ放送）を利用して、本機の時刻を自動調整します。

番組データを取り込むときは…

通常は地上アナログ放送のチャンネル設定を行なうと ADAMS を受信できますが、番組データが取り込めない場合は ➡ 接続・設定編 45 ページをご覧になり、以下の設定を確認してください。

番組ナビ設定画面で

「ADAMS設定」の「受信確認」を選ぶ

・「受信確認」を押すと、番組データの受信が可能かどうかを確認し、メッセージを表示します。（受信確認には最大で約 5 分かかります。）
・受信確認ができなかった場合は、受信チャンネルの確認をしてください。

受信チャンネルを確認し、決定 を押す

本機をお使いになっている地域のテレビ朝日系列のチャンネル（ADAMSを受信するチャンネル）を選択します。

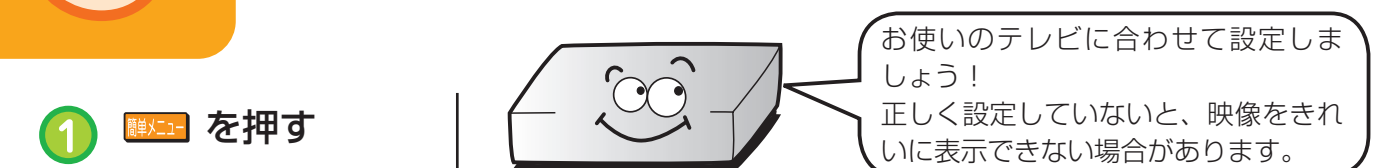
3 チャンネル設定をする

※設定メニューを表示する前に本体の もしくはリモコンの TS/VR を押して、本体の「R1」を点灯させます。

●初期スキャンが自動的にはじまります。
●設定された内容を確認するかどうかの、選択画面が表示されます。確認する場合は「はい」を、確認しない場合は「いいえ」を選び、「決定」を押してください。

設定メニューを終了するときは 終了 を押します。

5 テレビ画面形状の設定をする

お使いのテレビに合わせて設定しましょう！
正しく設定していないと、映像をきれいに表示できない場合があります。

1 簡単メニュー を押す

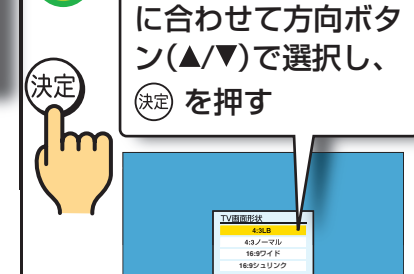
設定メニューを終了するときは 終了 を押します。

2 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で「設定メニュー」を選び、決定 を押す

3 方向ボタン(▲/▼)で「操作・表示設定」を選び、決定 を押す

4 方向ボタン(▲/▼)で「TV画面形状」を選び、決定 を押す

5 接続しているテレビに合わせて方向ボタン(▲/▼)で選択し、決定 を押す

時刻設定について
本機の時計が正しく設定されていない場合は ➡ 接続・設定編 31 ページの操作方法で設定してください。

●テレビの画面形状について

4：3LB：
従来の 4：3 テレビに本機を接続しているとき。

ワイド映像を再生するとき、上下に黒い帯を付けて正しく見えるようにします。
（LB=Letter Box（レターボックス））

4：3 ノーマル：
従来の 4：3 テレビに本機を接続しているとき。

ワイド映像を再生するとき、テレビ画面全体に表示します。
画面の片側または両側の映像部分がカットされます。

16：9 ワイド：
16：9 ワイドテレビに本機を接続しているとき。

16：9 シュリンク：
16：9 ワイドテレビに本機を接続しているとき。

4：3 の映像を再生したときに、左右が伸びて表示される場合は、この設定にします。
左右に帯がつきますが、正しく見えます。
プラズマテレビなどでこの状態の映像を長時間ご覧になると、画面に焼付きを生じることがあります。
プラズマテレビなどには、帯の部分を明るくして焼付きを軽減する機能が付いている場合がありますので、テレビの取扱説明書をお読みの上、その設定されることをお勧めします。